

News Release

報道関係 各位

2024年2月19日

【イベント開催報告】

青年技術士支援委員会

「傾聴だけじゃ足りない！？相手の話を引き出す自己開示術入門」 対面開催にて大盛況で終了！

公益社団法人日本技術士会青年技術士支援委員会（委員長：村上玲）は、2月17日（土）に東京都港区芝公園3丁目5-8にある機械振興会館にて、技術士のコンピテンシー（コミュニケーション）の向上を目的としたイベントを開催しました。このイベントでは、“自己開示の方法”と“自己開示を受けた際の傾聴技術”に焦点を当て、実践的なグループワークを通じて自己開示の理論と実践に取り組みました。参加者は技術士、技術士補、修習技術者を合わせて20名で、イベントは大盛況のうちに終了しました。

イベント詳細

本イベントでは、書籍『スタンフォード式人生を変える人間関係の授業』を基に、職場やチーム内でのコミュニケーションに有効な自己開示と傾聴の方法を学びました。参加者は5つのグループに分かれ、3つのパートで構成される、講義と具体的なモデルケースを使用したグループワークを通じて、実践的な学習を行いました。

最初のパートでは、「セミナーでの自己紹介」を題材に、初対面から関係を深めるための自己開示の基本となる、会話の快適ゾーン、学びのゾーン、危険ゾーンについて体験しました。

2番目のパートでは、「上司と部下の1on1」を題材に、上司が自分自身の「影響力」を手放さずに会話の主導権を維持しつつ、部下の話を引き出す際に有効な自己開示の技術について実践しました。

最後のパートでは、「上司と部下が対立した場合」を題材に、関係を改善するための手法について学び、関係改善のために有効な「行動に特化したフィードバック」の方法についてグループ内で議論し発表しました。

参加者からは、「自己開示することで、他者開示に繋がることを体感できた」「仕事で起こりそうなテーマで、場面が想像できて取り組み易かった」「普段の業務の中で意識して継続したい」などの声が寄せられました。



講義の様子



グループワークの様子



集合写真

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 村上 玲

委員会広報グループ：原田佳代子 E-mail：pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。

